

## OPEN HOUSE ARENA OTA (太田市総合体育館)

### 2026年の新B1リーグ基準を満たす 劇場型照明を備えたアリーナ

「オープンハウスアリーナ太田」は、スポーツを通じた地域の活性化をめざし、市民が愛着を持てる基盤施設とするため、築後約40年が経過していた太田市運動公園内の市民体育館を建て替える目的で、2023年4月に竣工した。

オープンハウスグループの企業版ふるさと納税を活用して建設された、「群馬クレインサンダーズ」(バスケットボールB1リーグ)のホームアリーナでもある。

2026年に創設される新B1リーグの基準を満たす約5,000人収容のメインアリーナは、国内最大級の可動式センタービジョンや劇場型照明を備え、3階にはVIPルームやラウンジも整備されている。また、アリーナ照明には「FIBA」(国際バスケットボール連盟)の認証を受けたパナソニックのLED投光器「スタジアムビーム」が採用された。太田市長の清水聖義氏は「劇場型照明によってコートが浮かび上がるように見え、選手の動きも見やすい。最先端の照明・映像・音響設備が導入され、臨場感と一体感のある環境が創り出されている。エンターテインメント空間としても『また来てみたい』と思わせる魅力ある空間になった。観光事業やシティプロモーション事業と連動することで、交流人口の増加や、にぎわいの創出を図ってきたい」と語る。



所在地 / 群馬県太田市飯塚町  
事業主 / 太田市  
設計・建設工事 / 関東・梓特定建設工事共同企業体  
竣工 / 2023年4月  
規模 / 地上3階建(延床面積約10,600㎡)



床面積約2,100㎡のメインアリーナでは、FIBA認証を受けたパナソニックのLED投光器「スタジアムビーム」やLEDムービングライトによる劇場型照明が配置され、臨場感と一体感のある環境が創り出される。客席は収納式で写真はバスケットモード。配光もセンターコートに絞られている



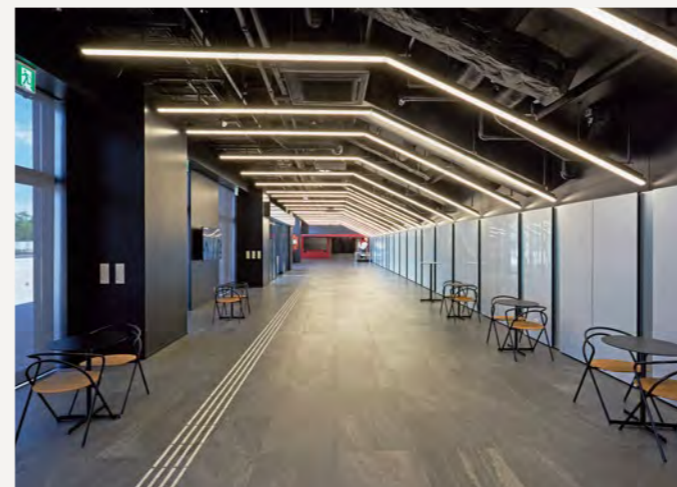
バスケットボールやバレーボールのコートが1面取れる床面積約630㎡のサブアリーナに採用されたLED高天井用照明器具



3階ラウンジからメインアリーナを望む



建築化照明が配された3階VIPルーム



一体型LEDベースライト「sBシリーズ」を意匠的に配置することでエントランスからメインアリーナへの期待感を高めているエントランスロビー



バックヤードの空調用吸収式冷凍機



屋上に設置されたガスヒートポンプ (GHP)



個室用のパッケージエアコン室外機

#### 主な納入設備

- LED投光器
- LEDムービングライト
- LEDベースライト
- 照明制御システム
- LED誘導灯
- 吸収式冷凍機
- GHP